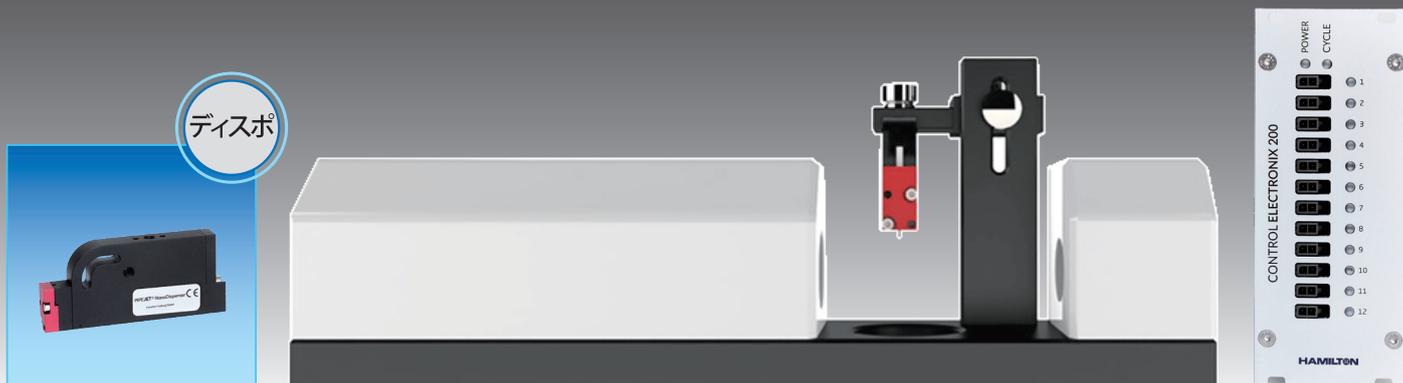


インクジェット実験キット

ヘッド・コントローラー・液滴観察機能が一式揃う

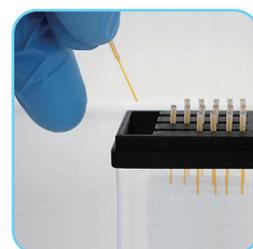


特徴

- 1 ピエゾ方式でナノリットルの液滴をデジタル制御
- 2 ディスポーザブル構造により洗浄不要・低ランニングコスト
- 3 液非加熱で400mPa・sまでの高粘度液に対応
- 4 最少必要液量 0.01cc以下
- 5 液滴観察、吐出量の自動調整機能を搭載

用途例

- DNA、タンパク、抗体、試薬のナノリットル分注
- 細胞液、ビーズ液の分注
- フラックス、接着剤、UV硬化液の吐出



使い捨てチップ



液滴観察画像

HAMILTON
製造元 Hamilton Freiburg GmbH

※液によって安定吐出しがない場合があります
※写真と実際の装置は異なる場合があります
※仕様は予告なしに変更することがあります



インクジェット吐出実験キット PJK シリーズ 概仕様

機種名	PJK-200
用途	液の吐出実験、観察、測定
装置構成	PipeJet、液滴観察ユニット、コントローラー、専用アプリケーション
搭載ヘッド	PipeJet ノズル径: 125、200、500 μ m
ヘッド駆動条件	吐出量、発数など (外部トリガー入力で吐出指示可能) ※専用アプリケーションで詳細設定も可能
吐出液滴量	2~70nl/滴、最大周波数 100滴/秒 ※ヘッド種類や使用する液種による
適応粘度範囲 ※注1)	0.5~400mPa·s ※ヘッド種類や使用する液種による
液滴観測機能	なし
吐出液	DNA、タンパク、抗体、細胞液、バイオマテリアル、 インク、高分子液、ナノ粒子液(Au、Ag)、水系、油系、溶剤系など
クリーニング	マニュアルによる加圧 回復しない目詰まり時はパイプ部のみ交換
電源	AC90~240V 50W ※PC電源は除く
使用環境	15~30°C 20~70%RH (結露なきこと)

搭載ヘッド

ヘッド種類	特徴	ヘッドヒータ	適応粘度[mPa·s]	吐出液滴量[nl/滴]
PipeJet	ディスプレイサブル、大滴吐出	無	0.5~400	2~70

※注1) 液種によっては安定吐出できない液があります。

※液滴量により適応粘度目安は異なります。

※上記仕様は予告無しに変更することがあります。